

夕光

伊豆高原十字の園 機関誌

No. 114

ゆうかひが



特集

ユニットケア最前線(3) ～社会福祉法人十字の園 理事長 平井 章～

主イエスとの絆 ～伊豆高原十字の園 施設長 青木克文～

クリスマス礼拝 シリーズ 家庭の暮らしを目指して～ユニットケア奮闘記～

がんばろう日本～東日本大震災 被災地派遣報告～

緊急時の対応 ・ 認知症勉強会

＜表紙の写真＞

やんもユニットでの書初め

ユニットケア最前線③



社会福祉法人十字の園
理事長 平井 章

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様のご支援ご協力に

感謝申し上げますとともに、本年も
よろしくお願いいたします。

年を重ねるごとに「高齢者の生活」
が他人事ではなくなってきました。ど
んな施設でどんな生活を送りたいの
だろう。来年には団塊世代が高齢者
の仲間に入ります。私もその一人。

この世代の特徴は、「我が儘・気
儘、自分勝手、自己主張、自己満足、
そして頑固、お調子者」です。さら
に一人一人が個性的ですから、さら
に厄介です。さだまさしの「閑白宣
言」を口ずさみながら主張します。

♪かなりきびしい話もするが、俺
の本音を聴いておけ。…俺より先
に寝てはいけない、俺より後に起
きてはいけない。…人の陰口言う
な聞くな、それからつまらぬシッ
トはするな。♪

「閑白宣言」の一部。「入居宣言」
の替え歌にしました。

♪個室は当然、日課はいらない、
食事はおいしく作れ、いらぬお節
介するな。自由気ままさせろ♪

♪幸福は二人で育てるもので、ど
ちらかが苦勞して、繕うものでは
ないはず…お前のお陰で、いい人
生だったと、俺が言うから♪

最近では、ユニットケアの実践に
は「個別ケア」という言葉が出てき
ます。団塊の世代を満足させる最良
の手段です。そこに登場するのが、
①個別化、②意図的な感情表出、③
統制された情緒関与、④非審判的態
度、⑤自己決定、⑥秘密保持、⑦専
門的援助関係というバイステック
の七原則です。
その結果の尺度は、利用者にも笑
顔、職員にも笑顔でしょうか。

主イエスとの絆



伊豆高原十字の園
施設長 青木克文

新しい年を迎え皆様いかがお過ご
してでしょうか。昨年は施設の移転改
築を行い、個室ユニット型の新しい
施設で新年を迎えられることとなり
ました。県、伊東市を始め関係各位
には、ご理解ご協力を賜り改めて感
謝申し上げます。

日本漢字能力検定協会は、昨年を
表す漢字を「絆」と発表しました。
全国からの応募の十二・四％で最多
だったそうです。東日本大震災や台
風被害はもちろん、なでしこジャパ
ンのチームワークも選定理由として
多かったです。

十字の園は東日本大震災直後に旧
施設への被災した要介護高齢者受入
を表明し、被災地に職員を派遣して
来ましたし、今後も派遣する予定で
す。被災者の方々が避難所から仮設
住宅に移ったことで支援の内容も変
わっていきます。

地域の絆、被災者同士、あるいは被
災者と支援ボランティアの絆、ボラン
ティア同士の絆、いろいろな絆を強く
太くすることに皆が力を合わせてい
ます。

震災の津波に耐え、復興のシンボ
ルとなった岩手県陸前高田市の「奇跡
の一本松」は、関係者の努力の甲斐な
く蘇生は絶望的だそうですが、種子か
ら苗が育ち、さらに枝を接ぎ木した苗
も育っているとのこと。

主イエスは「わたしはまことのぶど
うの木、わたしの父は農夫である。」
といわれます。主に繋がりたいと願
い豊かに実を結ぶよう歩みたいと願
います。



クリスマス礼拝

聖餐式



新施設になり、初めてのクリスマスです。クリスマス委員が新しいメンバーの中、会議を重ね皆さんの協力を得て、無事終えることができました。

玄関に飾った電飾は見ていただけたでしょうか。一階・三階のクリスマスツリーを見て「綺麗だな。」って思っただけでしたでしょうか。

モーニング・イブニングクワイヤー、クリスマス礼拝の規模は小さくなってしまいました。その分、ユニットでゆったりとクリスマスを迎えることができたのではないかと思います。

今年は手探りの状態で課題もたくさんありました。資料や申し送りを充実させ、来年はより一層良いものにしていきます。

生活支援室 落合麻代



各ユニットでは、クリスマスソングを歌ったり、プレゼントを贈ったり、飾り付け等も工夫を凝らしたクリスマス会が行われました。



イブニングクワイヤーでは、ロウソクを灯し讃美歌を唄いながら各ユニットを回りました。



聖餐式には、滝澤さん、山田さん、杉本さんご出席されました。

家庭の暮らしを目指して ～ユニットケア奮闘記～



「行ってきました。 舞阪！」

以前より「舞阪に行きお墓参りしたい。」と話されていた山口さん。昨年春ごろより舞阪に行きたいと言われ、「舞阪は遠いですよ。」と言うと、「そうか。」と、いつもは納得されていましたが、今年は違っていました。

「身体と足も、車にも自信がある。」と何回も言われ、ユニット職員で相談…。山口さんの身体の強さを信じ、十月二十七日にお墓参りに行くことにしました。



当日は、朝食後に施設を出発。途中で、何度かサービスイリアに立ち寄り休憩をとり、念願のお墓参りを無事に終えることができました。昼食は、浜松といたら…。うなぎ。もちろん完食です！

夕方、施設に戻りましたが、「やっぱりむこうのうなぎは旨いなア。」と笑顔で話される山口さんでした。いつまでもお元気でいて下さいね。百一歳バンザイ！

すみれユニット 平野淳一

もちつき

十二月二十六日、年末恒例のもちつきを行いました。青木施設長のつく姿に入居者さんから自然と「よいしょ」の掛け声が。交代した若手男性職員の頑張りに、「そうそう、うまいよ」と見守るような声が聞かれました。また、職員と一緒に杵を持ってもちをつく入居者もいました。

つきたての餅はその場で、きな粉と餡子で召し上がってもらい、

「つきたての餅はうまいねえ」と皆からは笑顔がこぼれていました。



デイサービス便り



メリークリスマス

クリスマスに向け、壁画・リース作りを行いました。壁画の題名は『サンタとツリー』。今までは全て、おはな紙を丸めて貼りつけましたが、今回、バックは色紙をちぎって貼りつけていただきました。

リースは好みの色のリボンを巻きつけていただき、鈴・どんぐり・松ぼっくり等をボンドで付けて完成！とても可愛く出来あがりましたね♡



青木恵美子

チューリップの球根を植えました

昨年に引き続き、今年もチューリップの球根を利用者の皆さんに植えていただきました。プランター8個に球根は全部で240個！
来年の春には色とりどりのチューリップが楽しめるうですね（笑）

デイサービス生活相談員

十字の園大会

～平成23年10月20日・21日 松崎教会～

自由に生きるを保障する

本年度の十字の園大会はかつてない、とても深遠なテーマで開催されました。「誰にとつての自由？利用者？家族？」「生きることを保障：誰がどのように保障できるの？」答えは出てきません。

情報が溢れ、価値観や生活様式が多用化した現代においては人の数だけある自由。高齢者介護に携わる人なら一度は聞いたことのある「充分長生きしたからもう死にたいよ」これも自由？保障するの？

こんな疑問に対して、実際に起きた事案を引き合いに、それが希望に向かっている自由であるかどうか重要であると説かれた星野牧師。平井理事長からは十字の園の理念『人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。』が示しているとおり、共に利用者の自己実現に向けてチャレンジしていきましょう。生きる主体は『あなた』で、支えるのが『私たち』です！とのメッセージをいただきました。



難解な問題に直面した時、いつでもキリストの教えや創立の精神に立ち返ることが出来る十字の園に感謝したいと思います。

大会は一泊二日で行われ、二日目のグループワークメンバーで宿泊を共にしました。普段は交流のない浜松、御殿場、松崎の十字の園職員さん達と職種を越え、年齢を超え、ついでに深夜0時を越える程の濃い交流（飲み会？）を図ることが出来たことも今年の大会の成果ではないでしょうか。

居宅介護支援事業所 飯田清久

東日本大震災

被災地派遣報告

宮城県石巻市



九月初旬、私は石巻のビッグバンという避難所に約二週間行かせて頂きました。三月十一日の震災から約半年経過したこの時は、避難所を閉鎖し、各個人が自立に向かう為、仮設住宅へ移っていくという変化の時期でした。そして、被災者の皆さん、或いは、避難所を運営するスタッフの皆さん（スタッフも地元の被災者です）が被災について多くのことを語り始めた時期でもありました。同じ被災体験をした人でなく、見ず知らずのボランティアにこそ、ただ話を聞いて欲しかったのでしよう。



自分の家族が、家が、車が流され全てを失った人：或いは「助けてくれ。」と声が聞こえてもどうするとも出来なかった己の無力感にさいなまれる人：津波から逃げたのに、びしょぬれで凍死してしまったという人：様々な被災の形を知りました。

復興にはどれだけの時間がかかるかわかりません。被災から長い時間が経ちましたが、まだまだ物心両面での支援が必要であると感じました。これから私達は、自分たちで出来る支援がなんであるかを考え、長く実行していくことが大切になると思っています。

短い期間ではありましたが、ボランティア活動だけでなく人生についても考える機会となり、貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

社会福祉施設防災訓練

皆様ご存知でしょうか。十一月一日は『社会福祉施設防災の日』です。私たちの住む静岡県では、いつ東海地震が発生してもおかしくないと言われております。地震のほか、津波、火災、風水害などいっどのような災害が起こるかわかりません。そのような中、施設でも有事に備え毎月防災訓練を行っております。今年度は静岡県から要請を受け、十一月一日に伊東市消防対島支署、消防設備会社の協力を仰ぎ、行政機関、他施設などの見学を受け入れるという、普段より規模の大きい「総合防災訓練」を行うことになりました。



新施設では建物構造が大きく変わり、防火・防災の体制も変わったため、毎月の防災訓練後に担当スタッフで内容、体制について話し合い、見直しをしております。今回の総合防災訓練の内容は大規模地震発生後、施設内設備からの出火を想定して、早い時期から何度も打ち合わせを重ねて参りました。訓練当日は天候に恵まれ、事故、怪我もなく無事終了。消防隊からは「訓練を徹底し、有事の際に機敏に行動できるように」との講評を受けました。今後も職員の防災意識を高め、訓練を充実し、火災などの災害に対応できる体制を整えていきたいと思っております。

防火管理者 小川秀幸

認知症にやさしい地域に向けて

対島地域包括支援センター 勉強会

対島地域包括支援センターでは昨年十月二十五日『認知症にやさしい地域に向けて』というテーマで認知症勉強会を開催しました。

今回は、地域でご活躍いただいている地区長、民生委員、管理事務所、介護保険サービス事業所、消防署、市役所の方々に参加していただきました。講師は、認知症のための地域ネットワーク作りに詳しい、老健みはらしの施設長八森淳先生にお願いしました。実際に会場から認知症で問題になっている事例を出してもらい、それに対するヒント、回答を与えてもらうような参加型の形式で会が進行しました。



会場からは「いろいろなタイプの認知症があることがわかった。」「今後、認知症の人と、地域が関わっていくことが大切であると感じた。」「支援のラインを複数にする必要性を感じた。」「単なる講演会ではなく事例をもとに、具体的なものが見えて良かった。」「地域の人と意見交換できて良かった。」などの声が聞かれました。誰もが、ならないとは限らない「認知症」という病気に対して、地域の人が関心を持ち、支えていく体制を作るために、今後も対島地域包括支援センターは認知症の方のためになる活動、を実践していきたいと考えております。

対島地域包括支援センター

渡辺奈留美

緊急時対応の取り組み

ホームヘルパーステーション

ご利用者宅へ訪問すると普段と違う様子だったり、思いがけない状況になっている事が度々あります。

このような場合、『迅速に、冷静で適切な対応』が求められます。ヘルパーステーションでは『もしもの場合に！』と、緊急連絡カードを作成し、利用者宅の電話付近に置かせて頂いています。そのおかげで、救急車要請となった時にも、隊員からの質問に慌ててしまう事なく、落ち着いて反応できています。定期的にカード内容の見直し等も行い連絡先変更などのチェックも行っています。

また、勉強会でも、誤嚥マニュアルを活用して、タッピングやハイムリック法の正しい位置確認、対処方法を再確認しています。

新聞でも救急車要請の必要性和判断が問題になっていますが、日頃から利用者の身体・生活変化を観察し、情報伝達を密に行う事によって、正しく緊急時に対応できるように取り組んでいます。

ホームヘルパーステーション

千葉詠世

「多床室から個室へ」

昨年四月に新施設がオープンし、窓からの季節の移り変わりを感じながら、早いもので新年を迎えました。

おかげさまで、ご利用者の方より「個室になって周りの人に気を使わないで気兼ねなく利用できる。」「アットホームな雰囲気です。」などと言っていただいております。

皆さんも是非一度足を運んで下さい。いつでもお待ちしております。

短期入所生活介護事業所

チーフ 田中美智代



あゆみのあと

10月

- 6 ▽生け花B
- 11 ▽理髪
- 17 ▽生け花A
- 18 ▽防災訓練
旧施設取り壊し開始
- 19 ▽移動美容室
- 20 ▽森田屋
十字の園大会(松崎)
- 21 ▽十字の園大会(松崎)
- 24 ▽防災訓練
- 25 ▽対島包括認知症勉強会

11月

1 ▽県東部社会福祉施設
総合防災訓練

- 2 ▽生け花B
- 7 ▽浄化槽定期検査
- 8 ▽理髪・車椅子清掃
- 9 ▽滋賀県甲南高校
修学旅行体験学習受入
- 10 ▽おやつサークル
- 16 ▽移動美容室
- 21 ▽生け花A
- 24 ▽森田屋・全体勉強会
- 27 ▽クリスマスアドベント
モーニングクワイヤー

12月

- 2 ▽県指導監査
法人新任研修(浜松)
- 4 ▽衣類販売
- 5 ▽クリスマスアドベント
イブニングクワイヤー
- 6 ▽理髪・対島中実習受入
- 7 ▽生け花B
夜勤者健康診断
- 12 ▽クリスマスアドベント
イブニングクワイヤー
- 15 ▽生け花A
- 19 ▽森田屋
クリスマスアドベント
イブニングクワイヤー
- 21 ▽移動美容室
- 23 ▽聖餐式・クリスマス礼拝
- 26 ▽もちつき

《東日本大震災 被災地支援派遣》

- ・近藤礼子 介護支援専門員
(8/26~9/17 宮城県仙台市 ひなたぼっこ)
- ・山下佳代子 生活支援員
(9/2~9/11 宮城県仙台市 ひなたぼっこ)
- ・大川智加枝 看護師
(9/23~10/9 宮城県石巻市 ビッグバン)
- ・萩坂麻美 看護師
(10/7~10/23 宮城県気仙沼市 特養春圃園)

献金・献品者ご芳名

9月▽鈴木正弘、豊橋鷹丘
キリスト教会、花徳、匿名
1件

10月▽中島厚、近藤利夫、
豊橋鷹丘キリスト教会

11月▽大山とみ、豊橋鷹丘
キリスト教会、萩原よね子、
福地マサ
(敬称略)

◆献金感謝◆

H23年9月~H23年11月
合計 8件 310,010円

ご協力くださいました多くの
方々のご厚意に感謝しつつご報
告いたします。
ありがとうございます。

皆様のご支援をお願い致します

郵便振替口座 00810-6-168180
ゆうちょ銀行 089店当座 0168180
口座名義 伊豆高原十字の園

ご連絡いただければ、
振替用紙をお送りいたします。
伊豆高原十字の園
☎0557-54-1613

感謝ボランティア

伊東教会婦人会、宇佐美
教会婦人会、のぞみの会、
麦の会、家族会、伊東市第
六地区民生委員児童委員協
議会、大室高原ボランティア
アグループ、内田知(伊東教
会)、千代崎聖子(伊東キリス
ト教会)、久保島泰・久保島
理恵(伊豆八幡野教会)、山口
光仕(川奈聖書教会)、畠澤か
おり(宇佐美教会)、浅野
悦昭、岡善実、郵便局局長
婦人会東部会、平和の杜、
伊豆高原ペンション協同組
合
(順不同・敬称略)

苦情対応の状況

▽施設 1件
・職員の言葉遣い・態度につ
いての内容のため個人と全
体に注意指導しました。

▽在宅 1件
・ショートステイ利用のご家
族から担当職員の態度につ
いて改善をするように指摘
され対応接遇の指導をしま
した。

《苦情受付担当者》

在宅・重永仁美(次長)
施設・小川秀幸
(主任生活相談員)

＜お知らせ＞

☆清拭布寄付のお願い☆
不要になった浴衣やタオル、
雑巾等がありましたら、生活相
談室の小川までご連絡下さい。

☆夕光編集委員募集☆
イラストが得意な方、アイデ
ィアをお持ちの方、興味がある
方等…お気軽に声をかけてく
ださい。

あとかぎ

毎年恒例の「今年の漢字」、
昨年は『絆』でしたね。
現在、人と人とのつながりが
希薄になってきている中、昨年の東
日本大震災を期に人の温かさ
を感じる事ができました。
日本中が暗く辛い年でした
が、なでしこジャパンが優勝し
て、皆が勇気付けられたと思っ
ます。
今年も『絆』を大切に、明る
く笑顔で暮らしていきたいです
ね。皆様にとって良い年になり
ますように、心からお祈り申し
上げます。『がんばろう！日本』
(ま)



十字の園 検索
http://www.jyuji.or.jp

